

フレック食品工業(株)

フレック食品工業(永平寺町)

「カート型屋台」開発

食品製造のフレック食品工業(永平寺町)が移動カート型屋台を開発し、県内初となる営業許可を受けた。二十二日から毎週土、日曜と祝日に、南越前町牧谷の北陸自動車道上り線南条サービスエリアで営業し、県産食材を使った独自のファストフードを販売する。

福井市西木田二丁目の福井商工会議所ビルで十九日に開かれた新商品・新サービス合同発表会で発表した。

屋台は高さ二・一メートル、幅二・四メートル、奥行き一・六五メートル。底部に車輪が付いているため、大人一人の力で移動できる。販売出店の準備や後片付けで手間がかからず、移動販売車が乗り入れできない駅の構内や歩道スペース

22日から南条SAで営業

スなどにも設置できるのが特徴だ。

外装は黄色を主体に、恐竜をモチーフに同社が考案した「当地キャラクター」ラブと「くん」が描かれている。青いライン入りの屋台では、県産鳥肉のメンチカツを挟んだ「恐竜GAOバーガー」(四百八十円)など三種類のハンバーガーを販売。赤いラインの屋台では、県産コシヒカリを豚肉で巻いた肉巻き棒など五品を扱う。

繊維メーカーのセーレン(福井市)と連携し、来春から「ラブとくん」のTシャツなどでも売り出す。フレック食品工業の山本好之し、福井の食文化を広

営業主任は「各地のいく発信していきたい」
ベントなどでも出店と話した。
(平井一敏)

県産食材ファストフード販売



南条サービスエリアに登場する移動カート型屋台=19日、福井市の福井商工会議所ビル前で